



第29号

こまがた元気会だより



地域おこし協力隊の椿(つばき)さんが活動開始！

待ち望んでいた地域おこし協力隊が決まり、5月1日からこまがた元気会に配属となりました。椿^{つばきはるまき}春樹さん(41)です。市役所で遠藤忠一市長から委嘱状が交付された後、こまがた元気館で今井輝雄会長より「里づくりデザイナー」の任命書が手渡されました。未来の駒形を大胆にデザインしていただくことが期待されます。こまがた元気館を拠点に地区内外幅広く活動予定です。

(勤務は原則火曜日～金曜日、午前8時30分～午後5時15分)



◎自己紹介◎

初めまして。椿春樹と申します。秋田県出身で今までは東京で好み焼き店で働いていました。妻が駒形出身ということで良くこの里を訪れていました。なんだかこの里を訪れ、山の美しさ、ご飯の美味しさに感動し、いずれはこの里で自分の畑を作り自給自足の生活がしたいと思うようになりました。そのようなことを考えている中『地域おこし協力隊』という地域の方々のお手伝い出来るお仕事があり、すぐに応募しました。まだまだわからない事だらけなので、もしよかったですら色々ご指導お願いします。よろしくお願いします。



…ということで、さっそく隊員として初仕事！

☆マルシェの様様替え☆

こまがた元気館入口の農産物直売所(こまがた元気マルシェ)の売り場を、商品の陳列棚や籠を変え、ポップを新しいデザインにするなど、日々椿隊員による様様替えが進行中です！ぜひ見に来て(野菜も購入して)ください。



作業中の椿隊員

椿隊員の活躍は裏面へ続きます。

令和5年6月1日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町中屋沢字田中乙3(里の駅こまがた元気館)

電話 080-2805-1050(事務局：大平)

メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO法人かけはし(代表理事 石島 来太)喜多方市寺田 4905-21

☆味噌づくりも研修！

5月16日と18日には、塩川町内の松本屋さんで味噌づくりの様子を見学しました。駒形地区の農産物などでの新たな商品開発、マチ（塩川）とサト（駒形）とのコラボ（協働）の企画などにチャレンジしたいとのことです。



味噌作りの様子

☆駒形のマスコットキャラクターを考案中！

駒形地区を元気にし、発信するマスコットキャラクターの作成にも取り組んでいます。名前がまだ決まっていないので良い名前を思い浮かんだ方はぜひ教えてください。



図案やネーミングへのご意見は、事務局への電話、メール、ホームページへの投稿等でお知らせ下さい！

以上、椿隊員の活躍でした！
これからもよろしくお願い致します！

こまがた元気マルシェがオープンしています！

今年度のマルシェは5月8日からオープンしました。地域おこし協力隊が配置されましたので（前項参照）、原則月曜日～金曜日に開店します。

（時間は従来通り朝9時～夕方4時30分）

5月下旬現在、野菜類をはじめ、野菜苗、ざる菊苗などが出ています。毎日の出荷状況はホームページの「マルシェ情報」をご覧ください。



「ざる菊」づくりも始動！

花で彩る里づくり部会では、昨年度に引き続き「ざる菊」の普及を図るため栽培活動を行っています。昨年の株元から多数生えた茎を、①まずく株分けした苗は、マルシェで販売されています。②5月24日にはく挿し芽による苗ポットを作りました。畑への定植は6月20日頃を予定していますが、その前にマルシェで販売予定です。①株分け苗②挿し芽苗とも1ポット100円です。

*「ざる菊の育て方」をマルシェに用意しています。



ざる菊の育て方

- 畑の準備
 - ・雑草を除去し、菊床を耕す
 - ・肥料は醗酵鶏糞、油粕などを蒔き仕上げ耕運
 - ・定植の為の畝作り
 畝幅は40cm位
 畝高さ20cm位に作る
 - ・雑草対策としてマルチ栽培が良い
- 定植
 - ・1m間隔で植える
 - ・ポット苗は根をほごさないで植える
 - ・苗底に白根が固まっている時は少しほごす
 - ・定植後は水をたっぷりと与えます
- 水管理
 - ・根付いたら水やりを少しずつ控える
 - ・夏の日照りには注意、しおれる時は十分に
- 外注対策
 - ・アブラムシ、毛虫など十分に注意してください
 - ・見かけたらスプレー殺虫剤（市販）などで散布

※ 開花までは長い時間がかかります、手入れを楽しみましょう



（写真：田村市「菊の里ときわ」）

こまがた元気会・花で彩る駒形の里づくり部会

ざる菊の育て方の資料